

酒井潔 タカシ 風俗研究家。明治二十八年十一月十五日愛知縣愛知郡熱田町生れ、昭和二十七年五月二十四日歿（八九五—九五二）。本名清一。筆名喜童代四郎、酒井喜代四。明倫中學校に入学、のち上京して畫學校等へ學び、また語學を修める。東京郊外にアトリエを建てる、畫業の傍ら性愛文獻と涉獵。大正末頃尾崎入彌、今東光、梅原北明等を知り、爾後北明主宰誌『文藝市場』、『變態資料』等の執筆、更に装丁のことも携はる。昭和五年個人雜誌『談奇』創刊（全七冊）。十年郷里へ隠棲し著述廢止。戰時中京都へ移住して同地で歿。

著書に『世界好色文學史・第二卷』（佐々謙白・梅原北明共編著、昭和四年六月五日文藝市場社）、『降靈魔術』（昭和六年四月二十八日春陽堂）、『佛蘭西變態文獻』（昭和七年十一月十五日風俗資料刊行會）、『畫苑夜話』（昭和八年六月五日ニ書書房）、『悪魔学大全』（昭和四十六年十月二十日桃源社）、『愛の魔術』（昭和五十二年六月十五日桃源社）等の他、譯書にフェリシアン・シヤンヌール作『まのやま』（梅原北明共譯、讓受再版、昭和五年九月十日大洋社書店）、ドン・ガラシナス・アレラ作『奴隸祭』（昭和六年二月十日竹醉書房『談奇群書』）がある。

